

1. 自己紹介

私は、「伊仙町農業支援センター青緑の里」で農業研修を受け、今年 8 月に就農した美山茂(みやましげる)です。地元の高校を卒業後、東京で電子設計のプログラミング会社に勤めていました。故郷の伊仙町には先祖代々の農地があり、親からも帰ってきてほしいと言われていたので、定年を機に昨年 6 月にリターンしました。



62 歳で就農した美山さん

2. 研修に参加した理由

私が、実家の農作業の手伝いをしていた頃は、鍬(くわ)や鎌(かま)の時代でした。今では、植付けから収穫までいろいろな農業機械があるので、就農前に現代農業を学びたいと思い、農業研修に申し込みました。研修期間は、昨年 8 月から今年 7 月までの 1 年間。町から研修 1 日当たり 4,500 円を支給していただいたので、大変助かりました。

3. 研修内容

研修作物は、町が推奨し販売ルートが確立されているジャガイモやカボチャなどの露地野菜を選択しました。研修では、農業の基礎や園芸作物の知識のほか、播種から収穫・出荷まで多岐にわたる園芸作物の栽培管理について、理論的で体系的な技術を学び、管理機も使えるようになりました。夏場の暑さには不安があったものの、気温に合わせた作業スケジュールを組んでいただいたので、無事に乗り切れました。



苗作りの研修



ジャガイモ植付けの研修

4. 将来のビジョン

当面は、サトウキビとジャガイモを主体に葉物野菜なども栽培する計画です。早く農業機械の保管倉庫を建設したいので、より収益を上げられるように頑張ります。自身がリタイアするまでに、後継者を見つけることを最終目標にしています。

5. これから就農を目指す方へのメッセージ

60 歳を過ぎてからでも農業はできます。体力的に不安はあったものの、今の時代は機械が充実しているので、思っていたほど重労働ではありません。ぜひチャレンジしてほしいです。

研修先：伊仙町農業支援センター青緑の里 担当者 徳 亜梨沙

所在地及び連絡先：大島郡伊仙町伊仙 2638 番地 電話 0997-86-2711

e-mail keizai02@town.isen.kagoshima.jp